

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	相模女子大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	サガミジョシダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F114310104767
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	神奈川県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ教育Ⅰ、ⅡA・B
	学部・研究科等名	学芸学部英語文化コミュニケーション学科
	担当教職員名・役職	教授 九里徳泰 教授 小泉京美
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	24
	受入企業等数	4
	受入企業等名	株式会社L O C K U P エスシー総合管理株式会社 座間米軍キャンプ 長野県やまのうちインターンシップ
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 2.有給インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	2~3年次生を対象に、春学期15コマのインターンシップ準備、夏期休業期間中の3~4週間のインターンシップを実施し、秋学期15コマの就職活動へ接続する事後教育を組み合わせた演習科目「インターンシップ教育Ⅰ、ⅡA・B」として実施している。本科目では、Aは学生の社会人基礎力育成に焦点を当て、高い就業意識と職業観の育成や専門分野、特に観光・ホスピタリティ分野への理解を促す。Bは海外でのインターンシップを実施し、学生の社会人基礎力育成に焦点を当て、高い就業意識と職業観の育成や専門分野、特に国際的な環境でのビジネス及び生活文化の理解を促す。(令和3年度はコロナ渦のため日本国内での米軍キャンプでの実習とした)
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 3単位

2-5.上記回答内容に関する詳細	<p>本学の観光インターンシップ演習科目は正規の教育課程の中にあり、シラバスでインターンシップの実施目的や目的とする教育的効果を明示し10日、45時間以上の就労体験が必要であるとしている。本科目は、専門教育科目また、観光ビジネス領域のグローバル実践科目として実施し、事前15コマ、事後15コマに加えインターンシップは、休業期間中に実施している。実施年度は2, 3年次で、授業30コマと10日、45時間以上の就労体験をもって3単位付与（事前事後教育15回演習×2：2単位、インターンシップ1単位）するとしている。</p>
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
3-2-1.該当する事前学習の内容	<p>1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている</p> <p>2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている</p> <p>3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている</p> <p>5.その他</p>
3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	.学生に対して、インターンシップ先の業界研究を実施している。就活シミュレーションという学科キャリア教育により、エントリーシートの提出、SPI受験、グループディスカッション、個人面接の模擬入社試験実践をインターンシップ前に行う。
3-2-2.該当する事後学習の内容	<p>1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている</p> <p>2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている</p> <p>3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている</p> <p>4.その他</p>
3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	就活シミュレーションという学科キャリア教育により、エントリーシートの提出、SPI受験、グループディスカッション、個人面接の模擬入社試験実践をインターンシップ後に再度行う。
3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	学生が日報をオンラインで提出。教員が1企業1回の巡視を行う。

3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	<p>授業の到達目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現場における就業体験（インターンシップ）を通じて、実践的なスキルや技術を学び、大学で学んだ専門知識と実際の経験の統合を図り、専門知識の学習や研究に対する目的意識を理解し、自分の言葉で説明することができる。 2. 将来の職業選択や就職に活かす機会として、自己適正の正しい認識や社会人として必要なマナーや責任感を習得し、実践することができる。 3. 論理的思考能力、プレゼンテーション能力を高め、客観的に評価することができる。 <p>授業概要：事前指導においては、各自が希望する関連産業に関する基礎的な知識を学ぶとともに、現場で必要とされるビジネスマナーとスキルを身につける。研修先は、履修者の希望や事前指導への取り組みなどをもとに実習受け入れ先を決定し就業体験を行う。受講者には、平常授業への出席のほか、関連する学内外のプログラムへの参加、さらに10日間、または45時間程度の実習が義務付けられる。</p> <p>授業：ガイダンスの後、研修先の業界研究の発表、配属先を決めるための面接実施、研修先の業界研究の発表、実習先での基礎的なマナー講座、就職に備えた面接対応を理解する、グループディスカッション、就活シミュレーション、就活シミュレーションに対するフィードバック、改善提案の考え方、企業研究、勤務先指導、春学期レポート提出。夏休みにインターンシップ参加。</p>
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	<p>授業の到達目標:現場における就業体験（インターンシップ）を通じて、観光関連産業に関する理解を深めることを目的とする。また、事前・事後指導のなかで、社会人として求められる基本的なマナーやスキル、論理的思考能力、プレゼンテーション力を養う。</p> <p>授業概要:実習終了後は、自らの経験をレポートにまとめるとともに、プレゼンテーションを行い、他の履修者や次年度履修希望者にフィードバックすることを義務付ける。最終報告書25ページを提出する。</p> <p>授業内容：ガイダンスの後、実習報告1～3回、就職に対する面接指導、就職に対するグループディスカッション、就活シミュレーション、レポート作成上の注意、ESシートの書き方を理解する、就活シミュレーションでのフィードバック、インターンシップ報告書作成の指導報告会準備、インターンシップ報告会、研修先の報告書を提出。</p>
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	<p>インターンシップ中は、学生の主体性と受け入れ企業の管理に任せ、日々の学生の日報を企業とともに共有をしている。緊急事態の場合のホットラインは確保していて担当教員3名がた王する手順になっている。また、1企業に1回の巡視を行っていて、その時に企業へ学生の不具合などをヒアリングする。事前学習の際に設定したインターンシップ中の目標達成は、学生の主体性を最大限尊重する教育方針で、インターンシップ中に教員からの指導はしない。企業からの指導のお願いはしている。</p>
4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他

要素④	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	経済産業省のインターンシップ評価シートを用いて、企業、教員、学生で客観的な評価とそのフィードバックを行っている。また事後の教育効果の測定は、企業ごとのインターンシップに関するプレゼンテーションを行い、教員からその評価を行っている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細	経済産業省のインターンシップ評価シートを用いて、企業に学生1人1人を評価いただき、教員・学生の対面での面談で、学生の長所・短所、今後の学習方針などの指導を行う。また事後のもう1つの教育効果の測定は、企業ごとに体験したインターンシップに関するプレゼンテーションを授業中に発表項目を指定しに行い、教員から、その発表項目1つ1つにその評価を行い、体験したことのまとめを取りこぼすことなくフィードバックできるようにしている。最終的にはこのプレゼンテーションをブラッシュアップし、2年生1年生に「上級生からのインターンシップ体験」のプレゼンテーションを行う。これまでの学修の深化や今後の大学教育への動機づけに資するような指導を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	連続した5日間以上の実施期間を確保している：最低実施期間2日間（内実就業日15日程度）。また1か月を超える場合、複数回（合計42日（内30日就業））の実施もある。
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	株式会社LOCKUPで、21日間のインターンシップを行う。エスシー総合管理株式会社で21日間のインターンシップを行う。やまのうちインターンシップにおいて、旅館・ホテルにて21日間のインターンシップを行う。米軍座間キャンプで14日間のインターンシップを行う。
6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい	
6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している	
	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている	
	5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している	
6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容		

要素⑥	6-3.上記回答内容に関する詳細	<p>実施前に、大学側が用意した履歴書とエントリーシートを学生に作成させ、事前面接を実施した上で、企業での面接を行い各学生に合った研修先を設定している。この方法を企業とともに策定している。</p> <p>研修先には、学生のエントリーシートを事前に渡し、研修学生の情報を伝えることで受け入れ側と学生の相互理解を高め、研修ミスマッチが行わない工夫をおこなっている。</p> <p>事前に大学側が目標としている研修到達目標の評価表（経済産業省インターンシップ評価シート）を渡し、企業側にも大学が求めるゴール設定と研修内容にギャップが生じないようにしている。また、企業によっては企業と大学で作成したフィードバックシートを用いることもある。</p> <p>研修後、企業側の評価を学生にフィードバックすることで自己成長を認識し研修での経験を学びに変える機会を作っている。</p> <p>企業とは覚書きを取り交わし、双方の合意を確認し、学生の安全と企業側、大学側の認識の確認をおこなっている。特に女子大なので安全面への配慮に気を配っている。</p>												
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.sagami-wu.ac.jp/student/class/syllabus/												
問い合わせ先	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="105 826 767 864">大学等名</td> <td data-bbox="767 826 1530 864">相模女子大学</td> </tr> <tr> <td data-bbox="105 864 767 902">担当部署名</td> <td data-bbox="767 864 1530 902">学修・生活支援課</td> </tr> <tr> <td data-bbox="105 902 767 940">担当者役職名</td> <td data-bbox="767 902 1530 940"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="105 940 767 978">担当者氏名</td> <td data-bbox="767 940 1530 978">益田脩平</td> </tr> <tr> <td data-bbox="105 978 767 1016">電話番号</td> <td data-bbox="767 978 1530 1016">042-813-5069</td> </tr> <tr> <td data-bbox="105 1016 767 1090">メールアドレス</td> <td data-bbox="767 1016 1530 1090">shinsei@isc.sagami-wu.ac.jp</td> </tr> </table>	大学等名	相模女子大学	担当部署名	学修・生活支援課	担当者役職名		担当者氏名	益田脩平	電話番号	042-813-5069	メールアドレス	shinsei@isc.sagami-wu.ac.jp	
大学等名	相模女子大学													
担当部署名	学修・生活支援課													
担当者役職名														
担当者氏名	益田脩平													
電話番号	042-813-5069													
メールアドレス	shinsei@isc.sagami-wu.ac.jp													